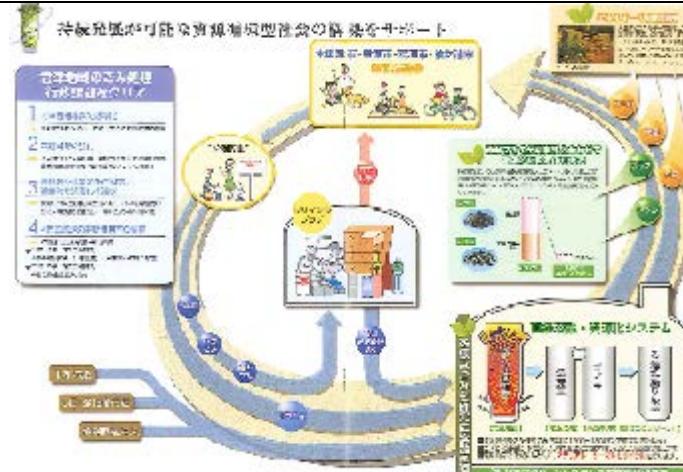


7.1 (株)かずさクリーンシステム

7.1.1 事業者情報

名 称	(株)かずさクリーンシステム		
本社住所	〒292-0836	千葉県木更津市新港 17-2	
資本金、出資金	2,000,000 千円		
従業員数	12 人		
設立年月日	平成 10 年		
URL	http://www.kazusa-cs.co.jp/		
事業概要	4 市(木更津市/君津市/富津市/袖ヶ浦市)の一般廃棄物及び条例により受け入れる産業廃棄物を中間処理		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	総務部	
	担当者名	阿部 隆男	
	連絡先	電話番号	0438-30-2071
		FAX	0438-30-2077
		E メールアドレス	abe.takao@kazusa-cs.co.jp

7.1.2 技術情報

技術名称	直接溶融・資源化システム		
技術の分類	ガス化溶融		
目的・用途	資源選別後の多様なごみを溶融		
特長	ごみを高温溶融し、スラグ・メタルに再生		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	一廃	可燃ごみ	受入条件、形状
	一廃	汚泥	受入条件、形状
	一廃	その他(不燃ゴミ)	受入条件、形状 資源選別後
	産廃	その他(紙くず等)	受入条件、形状
供給資源・製品	スラグ		形状
	メタル		形状

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	スラグ、メタルは埋立処分されず、新たな資源としてリサイクル可能 スラグ:路盤材等として活用 メタル:製鉄用資源として活用
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	上記資源を安価に購入 購入価格:約10円／t

7.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	一廃(可燃ごみ)	104,162	104,111	t
	一廃(不燃ごみ)	2,209	1,432	t
	一廃(汚泥)	4,289	4,472	t
	産廃(可燃ごみ他)	209	254	t
受入可能量	一廃、産廃	-	450	t/日
販売実績量の推移	スラグ	12,118	8,731	t
	メタル	1,454	1,106	t
主な調達先	ごみ:一般家庭及び事業者(自治体経由)			
主な供給先	スラグ:自治体、土木業者他 メタル:製鉄所他			

14.1 株式会社 DINS 堺 RAC 事業所

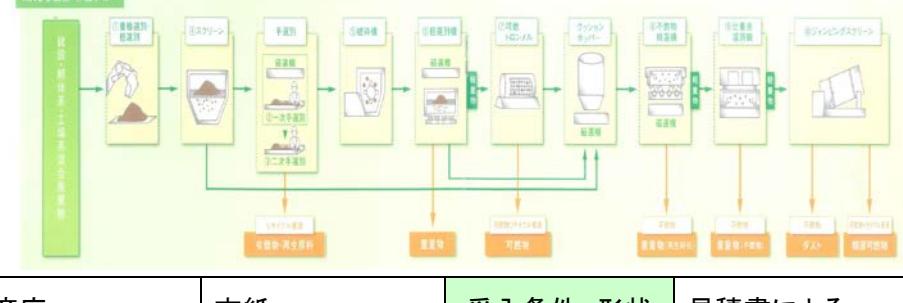
14.1.1 事業者情報

名 称	株式会社 DINS 堺 RAC 事業所	
本社住所	〒592-8331	大阪府堺市西区築港新町四丁 2 番 3 号
資本金、出資金	96,000 千円	
従業員数	47 名	
設立年月日	平成 16 年 3 月 25 日	
URL	http://www.dinsgr.co.jp/dins_sakai/	
事業概要	24,000m ² の敷地に、11,000m ² の建屋という広大な敷地にて建設現場や工場からの混合廃棄物を受け入れ、高度選別によって製紙や鉄・非鉄の精錬工程に提供するマテリアル原料を確保。また、良質な可燃物やリサイクル原料は、大堺環境グループの各施設へ送られ、サーマルリサイクル及び路盤材や無水石膏、RPF などの再生製品となり、再資源化の促進に貢献している。	
事業所写真		
問合せ先窓口	部署名	株式会社 DINS 堺 総務グループ
	担当者名	室賀 英治
	連絡先	電話番号 072-245-7777
		FAX 072-245-7930
	E メールアドレス	muroga8584@dinsgr.co.jp

14.1.2 技術情報(1)

キーワード	収集、運搬、保管、非飛散性アスベスト		
技術名称	産業廃棄物の収集運搬、積替え保管		
技術の分類	収集・運搬・保管		
目的・用途	排出事業者様の現場(建築現場、解体現場、工場等)から排出される廃棄物を適切に運搬する。		
特長	排出事業者様の現場にコンテナの設置を行い、お客様の要望に応えて適時引取りに伺う。運搬時に飛散・漏洩する事が無いよう、コンテナ上部にシート掛けを行う。また、非飛散性アスベストについては、客先にてフレコン2重梱包を行って頂き、弊社保管ヤードにて適切に積替え保管を行う。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	古紙	受入条件、形状 見積書による
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状 見積書による
	産廃	繊維くず	受入条件、形状 見積書による
	産廃	可燃ごみ	受入条件、形状 見積書による
	産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状 見積書による
	産廃	ゴムくず	受入条件、形状 見積書による
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状 見積書による
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状 見積書による
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	収集運搬、中間処理、最終処分(グループ会社処分場)の一連の処理委託により、安心・信頼して廃棄物処理を委託出来る。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	全車 NOx・PM 法基準適合車を使用。弊社はエコアクション 21 を取得しており、アイドリングストップ、エコ運転を心掛けている。エコ運転については、デジタコにて点数管理。

14.1.3 技術情報(2)

キーワード	破碎、選別、高度選別、屋内処理、建設系廃棄物、工場系廃棄物			
技術名称	産業廃棄物の破碎・選別			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	排出事業者様の現場(建築現場、解体現場、工場等)から排出される廃棄物を適切に破碎・選別し、有価物、リサイクル原料、可燃物、不燃物に分け、循環型社会を構築する。			
特長	高度選別施設、屋内処理、500t/日の処理能力			
設備等の写真	   			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	古紙	受入条件、形状	見積書による
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	繊維くず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	可燃ごみ	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ゴムくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	見積書による
供給資源・製品	廃プラスチック類(梱包)		形状	梱包物
	ダンボール		形状	梱包物
	廃石膏ボード		形状	破碎後物
	スクラップ		形状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット 例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	収集運搬、中間処理、最終処分(グループ会社処分場)の一連の処理委託により、安心・信頼して廃棄物処理を委託出来る。	
	製品購入者側のメリット 例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	廃棄物から捻出した原料をリサイクルする事によって、製品購入者側の環境負荷削減活動に寄与出来る。	
	その他 例)受賞歴、見学受入者数等	平成 24 年度 RAC 事業所見学者数 228 名	

14.1.4 実績情報

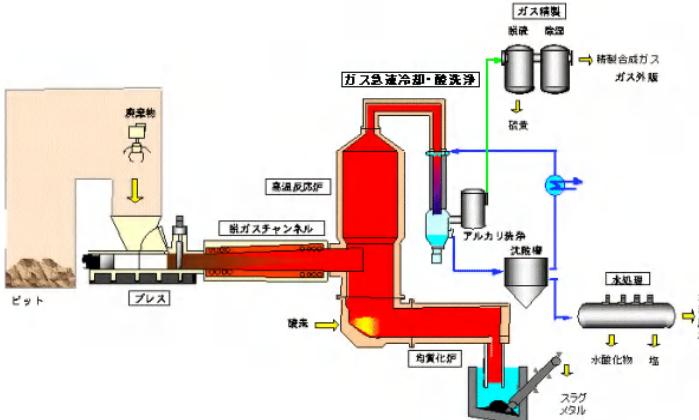
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	混合廃棄物	67,795	61,818	t
	廃プラスチック類	1,863	4,447	t
	紙くず	14	20	t
	木くず	1,773	1,420	t
	がれき類	7,624	1,952	t
	ガラス陶磁器くず	3,570	5,405	t
	金属くず	216	5	t
受入可能量	廃プラスチック類	500	500	t
	紙くず			
	木くず			
	繊維くず			
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず			
	がれき類			
販売実績量の推移	製鋼原料	355	1,014	t
	RPF 原料	483	990	t
	製紙原料	6	103	t
	廃プラスチック (塩ビパイプ)	0	28	t
	再生プラスチック原料	0	19	t
主な供給先	大栄環境グループ、セメント会社、スクラップ会社、古紙リサイクル業者			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	収集車両追加			
その他実績	産業廃棄物処分業許可・一般廃棄物処分業許可 計量証明事業登録 エコアクション 21 認定 消防協力事業所 登録(堺市消防局)			

16.2 水島エコワークス株式会社

16.2.1 事業者情報

名 称	水島エコワークス株式会社	
本社住所	〒712-8074	岡山県倉敷市川崎通一丁目 14 番 5 号
資本金、出資金	2,300,000 千円	
従業員数	10 人	
設立年月日	平成 14 年 1 月 21 日	
URL	http://www.eco-works.co.jp/	
事業概要	<p>・PFI 推進法に則り、倉敷市で収集される一般廃棄物等(可燃ゴミ、焼却灰及び下水汚泥)及び産業廃棄物の処理を行うため、民間業者が資金を調達し経営及び技術的能力の活用を行って、資源循環型廃棄物処理施設の整備・運営等を行う。</p>	
事業所写真	 	
問合せ先窓口	部署名	総務部
	担当者名	横内 誠志
	連絡先	電話番号 086-447-3255
		FAX 086-447-3257
		E メールアドレス yokouchi@eco-works.co.jp

16.2.2 技術情報

キーワード	ガス化、一般廃棄物、産業廃棄物、ガス化溶融炉、ガス化改質方式、焼却施設		
技術名称	サーモセレクト方式ガス化溶融		
技術の分類	ガス化溶融		
目的・用途	廃棄物(燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破碎物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(自動車等破碎物を含む)、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)、陶磁器くず(自動車等破碎物を含む)、鉱さい、がれき類、ばいじん、前掲の廃棄物を処分するために処理したもの、輸入廃棄物) の再資源化		
特長	・廃棄物処理にあたっては、ダイオキシンの発生抑制を始め、廃棄物由来の改質ガスをコンビナート他施設の燃料として利用するとともに、スラグ、メタル、金属水酸化物、硫黄などの他の副生成物も分離回収し、全て再資源化を図るなど完全な資源循環型システムを構築する。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	一廃・産廃	可燃ごみ	受入条件、形状 市民・事業者持参分を除き、爆発性廃棄物、放射性廃棄物、医療廃棄物、劇薬・農薬を除く
	一廃・産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状 異物(金属等)を除く
	一廃・産廃	燃え殻	受入条件、形状 長さ 20cm以上の固体物(クリンカー、レンガ、金属塊等)を除く

アピールポイント	廃棄物等 排出者側 のメリット	例) 処理料金、 買取料金、環境 負荷削減効果、 等	リサイクル率が 100%となる処理方法を採用 することにより、排出者として環境負荷軽減 によりよく寄与できること。
	製品購入 者側のメリ ット	例) 環境負荷削 減効果、製品の 品質、販売価 格、等	分離回収された副生成物再資源化による有 効活用に寄与できること
	その他	例) 受賞歴、施 設見学受入者 数、等	施設見学者受入数 平成 22 年度: 2,240 人 平成 23 年度: 1,672 人 平成 24 年度: 1,562 人

16.2.3 実績情報

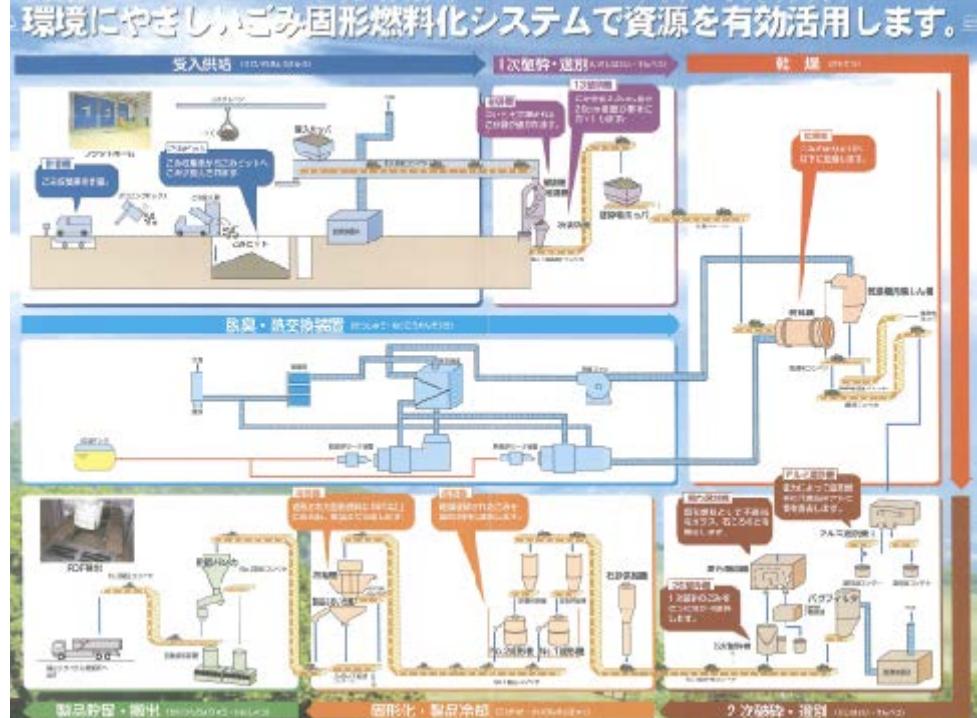
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	燃え殻	118	104	t
	汚泥	14311	16334	t
	廃油	4427	2029	t
	廃プラスチック類	38608	33241	t
	紙くず	321	1314	t
	木くず	1238	2102	t
	繊維くず	243	1049	t
	動植物性残さ	2598	1236	t
	金属くず	1	-	t
	ガラスくず	50	18	t
	がれき類	-	147	t
	ばいじん	316	4	t
受入可能量	特管・廃油	129	98	t
	非公開			
主な調達先	倉敷市、コンビナート9社(旭化成ケミカルズ、JFE スチール、クラレ、JX日 鉱日石エネルギー、中国電力、日本ゼオン、三菱化学、三菱ガス化学、三 菱自動車)			
主な供給先	JFE スチール、JFE エンジニアリング			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開			

17.1 神石高原町役場（施設名：クリーンセンターじんせき）

17.1.1 事業者情報

名 称	神石高原町役場(施設名:クリーンセンターじんせき)	
本社住所	〒720-1522	広島県神石郡神石高原町小畠 2025
資本金、出資金	千円	
従業員数	人	
設立年月日	平成 14 年 12 月から供用開始	
URL	http://www.jinsekigun.jp/	
事業概要	一般廃棄物のうち可燃物の処理を焼却処理ではなく固体燃料化することにより廃棄物の有効利用を図る。	
事業所写真		
問合せ先窓口	部署名	環境衛生課
	担当者名	岡部琢也
	連絡先	電話番号 0847-89-3336
		FAX 0847-85-3394
	E メールアドレス	jk-kankyo@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

17.1.2 技術情報

キーワード	固形燃料			
技術名称	RDF 製造技術			
技術の分類	固形燃料化(RDF、RPF)			
目的・用途	福山リサイクル発電所の発電用燃料として利用			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	可燃ごみ	受入条件、形状	金属等の異物の混入がないこと
供給資源・製品	RDF		形状	Φ10~20 mm × 長さ30~50 mm程度
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 处理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(固形燃料: RDF)としてリサイクルが可能であり、焼却処理ではないためダイオキシンの発生も抑制できる。	

17.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	可燃ごみ	非公開	非公開	t/年
受入可能量	可燃ごみ	-	非公開	t/日
販売実績量の推移	RDF	非公開	非公開	t/年
主な調達先	町内の家庭等から排出される一般廃棄物			
主な供給先	福山リサイクル発電所			

17.4 甲世衛生組合エコワイスセンター

17.4.1 事業者情報

名 称	甲世衛生組合エコワイスセンター	
本社住所	〒729-3302	広島県世羅郡世羅町大字川尻 781-11
資本金、出資金	千円	
従業員数	4人	
設立年月日	昭和 40 年 8 月 11 日	
URL	http://	
事業概要	<p>エコワイスセンター(ごみ固体燃料化施設)は、平成 10 年 4 月より【世羅町、三原市(久井町)、尾道市(御調町)】の一般廃棄物の可燃ごみ処理(RDF 製造)を行っている。</p>	
事業所写真		
問合せ先窓口	部署名	事務局
	担当者名	森宗 康典
	電話番号	0847-23-0691
	FAX	0847-23-0691
	E メールアドレス	kostc980@mail.mcat.ne.jp

17.4.2 技術情報

キーワード	一般廃棄物、固体燃料			
技術名称	RDF 製造技術			
技術の分類	固体燃料化(RDF)			
目的・用途	RDFを発電の燃料に使用			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	<p>可燃ごみ→①破袋機→②磁選機→③1次破碎機→④乾燥機→⑤選別機→⑥2次破碎機→⑦石灰供給機→⑧成形機→⑨冷却機→RDF</p>			
廃棄物の種類	一廃	可燃ごみ	受入条件、形状	靴、かばん、衣類等に付属した金属、プラスチック類は除く
供給資源・製品	RDF		形状	Φ 15mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット 例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(固体燃料:RDF)としてリサイクルが可能である。	

17.4.3 実績情報

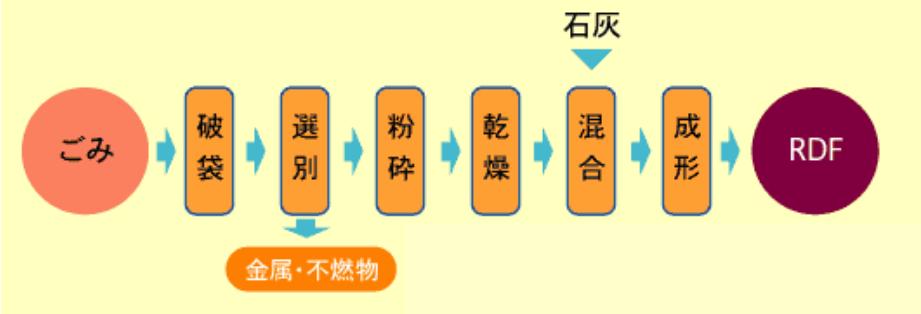
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	一般廃棄物(可燃ごみ)	3,582	3,597	t
受入可能量	一般廃棄物(可燃ごみ)	-	3,936	t
販売実績量の推移	RPF	1,872	1,843	t
主な調達先	構成自治体(対象地域:【世羅町、三原市(久井町)、尾道市(御調町)】)			
主な供給先	福山リサイクル発電株			

17.6 福山市ごみ固形燃料工場

17.6.1 事業者情報

名 称	福山市ごみ固形燃料工場	
本社住所	〒721-0956	広島県福山市箕沖町 107 番地 7
資本金、出資金	約 10,300,000 千円(建設事業費)	
従業員数	46 人	
設立年月日	平成 16 年 4 月 1 日	
URL		
事業概要	<p>・広島県において、ダイオキシン類の削減、未利用エネルギーの有効利用及び温室効果ガスの排出削減を行うため、広島県内の市町等でRDF化を行い、そのRDF燃料を利用して発電を行いうリサイクル発電事業計画が推進され、その一角を担っている。</p> <p>・2012年度において、福山市内全体の可燃ごみの内、約7割に当たる 90116 トンを処理し、50605 トンのRDFを製造した。</p>	
事業所写真		
問合せ先窓口	部署名	福山市 経済環境局環境部福山クリーンセンタ (ごみ固形燃料工場)
	担当者名	高橋 徳至
	電話番号	084-957-4866
	FAX	084-957-2174
	E メールアドレス	rdf-koujou@city.fukuyama.hiroshima.jp

17.6.2 技術情報

キーワード	固形燃料、RDF			
技術名称	RDF製造技術			
技術の分類	「破碎・乾燥・選別及び成型」			
目的・用途	RDFは化石燃料の代替として、隣接する福山リサイクル発電(株)で発電用の燃料として使用されている。			
特長	熱量が安定していることにより、安定燃焼が得られるのでダイオキシン類の発生を抑制できる。また、腐敗・悪臭がおこりにくく、貯蔵や長距離輸送が可能である。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃 ごみ	一般家庭・事業系可燃 ごみ	受入条件、形状	一辺が 50cm 以下 径が 10cm 以下
供給資源・製品	RDF		形状	Φ 15~20mm 長さ 30~50mm
	製品購入者側のメリット 例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等		熱量約 4000kcal と通常のごみと比べ高く安定していることから、発電時に安定燃焼が得られることでダイオキシン類の発生抑制ができる。	
	その他 例) 受賞歴、施設見学受入れ者数、等		1,341 人の施設見学受入れを実施。 (2012 年度)	

17.6.3 実績情報

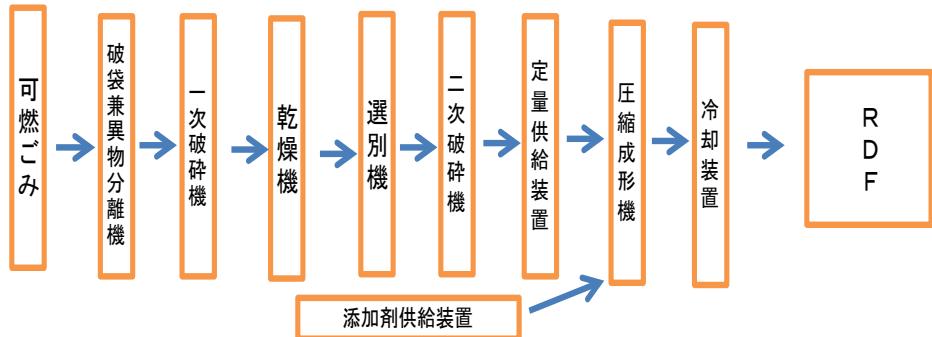
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	燃やせるごみ	90,640	90,116	トン
販売実績量の推移	RDF	50,999	50,605	トン
主な調達先	福山市内的一般家庭・事業所			
主な供給先	福山リサイクル発電株式会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	約 1,500 万円を通じ、12kW の太陽光発電設備を設置。工場内の照明等に利用している。(2011年)			

17.9 府中市クリーンセンター

17.9.1 事業者情報

名 称	府中市クリーンセンター		
本社住所	〒726-0002	広島県府中市鵜飼町 74 番地 2	
資本金、出資金	3,720,150 千円 (建設に関する装事業費)		
従業員数	9 人 (直接従事者数)		
設立年月日	平成 14 年		
URL			
事業概要	<p>・府中市内の家庭や事業所から排出される一般廃棄物のうち、可燃ごみ(厨芥類、紙類、纖維くず、剪定枝・草類等)を、固体燃料化(RDF)し、広島県福山市箕沖町にある福山リサイクル発電所へ、供給しています。</p>		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	市民生活部環境整備課庶務管理係	
	担当者名	新野 雅行	
	連絡先	電話番号	0847-43-7144
		FAX	0847-43-9223
		E メールアドレス	kannkyou@city.fuchu.hiroshima.jp

17.9.2 技術情報

キーワード	可燃ごみ、固形燃料		
技術名称	RDF製造技術		
技術の分類	固形燃料化(RDF、RPF)		
目的・用途	RDFは、福山リサイクル発電所で発電するために使用されています。		
特長	発熱量、品質、腐敗しにくさ、長期の貯蔵、輸送面において、ごみそのものよりも優れている。		
設備、製品等の写真、イメージ	 		
処理フロー図			
廃棄物の種類	一廃 可燃ごみ	受入条件、形状	金属等の異物の混入がないこと、塩ビ管など塩素を含まないもの
供給資源・製品	RDF	形状	Φ 10mm
アピールポイント	<p>廃棄物等排出者側のメリット</p> <p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<p>・焼却埋立処分されず新たな資源(固形燃料: RDF)として再利用され、ダイオキシン類や CO₂ 排出量の削減と環境影響の抑制に貢献できます。</p>	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	市内の小学生約200人の施設見学を受入。

17.9.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	可燃ごみ	7,946	7,762	t
受入可能量	可燃ごみ	-	12,000	t
販売実績量の推移	RDF	3,387	3,464	t
主な調達先	市内から収集される家庭ごみ			
主な供給先	福山リサイクル発電株式会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	設備の部品購入や維持修繕に約 564,082 千円 (H20～24 年度合計)			